

12月18日、セントラルキッチン『タムステリ船橋』 開所式が行われました。

グループが運営する病院や施設に食事を提供するセントラルキッチン『タムステリ船橋』の開所式が執り行われました。

2026年2月から本格稼働し、同9月までに、1日で最大1万5,000食を系列病院などに提供できる体制を整えます。



関係者によるテープカット

セントラルキッチン完成

施工は
三和建設 **1日最大1.5万食提供**

タムスグループ

医療法人タムスグループ（岡本和久理事長）は18日、グループが運営する病院や特別養護老人ホームに食事を提供するセントラルキッチン「タムステリ船橋」の落成式を千葉県船橋市で開いた。2026年2月から本格稼働し、同9月までに1日で最大1万5000食を系列病院などに提供する体制を整える。設計はアイ・アイ・エー。三和建設が施工した。

建設地は高瀬町。3061平方メートルの敷地にS造2階建て延べ2062平方メートルの建物を整備した。落成式で岡本理事長は「しっかり栄養を管理したおいしい食事を供給していく目標を掲げ、5年をかけて自ら提案、調理、配膳可能なセントラルキッチンが実現できた。コロナ禍の混乱期、労務不足や資材高騰の時代に、私たちの理念を形にしてくれたグループ関係者、設計者、

施工者すべてに感謝したい」とあいさつした。



建物全景

